秘
農　林　水　産　省

統計法に基づく一般統計
漁 業 経 営 統 計

漁 業 経 営 統 計 調 査

令和〇年　個人経営体調査票

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

大海区	都道府県	経営体番号	階層番号	経営組織
				1

☆　この調査は、統計法に基づく一般統計調査です。
☆　この調査により報告された記入内容は、統計法により秘密が保護されます。
　　課税などの統計作成以外の目的に使うことはありません。

【記入上の留意事項】

1．令和〇年１月１日～ 令和〇年12月31日の１年間について記入してください。
2．調査項目欄には、右づめで記入してください。
3．**黒の鉛筆又はシャープペンシル**を使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
4．記入に当たっては、「調査票の記入の仕方」を参照して記入してください。
5．オンラインを利用される方は、添付の「オンライン利用の手引き」を参照ください。

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までお問い合わせください

【通信欄】１年間の経営の中で特徴的な出来事があれば、記入してください。

SAMPLE

【１】現況

1　**自営漁業・養殖業の経営主の年齢**を記入してください。 （令和〇年12月31日時点）	歳
2　**家族の人数**を記入してください。 （令和〇年12月31日時点）	人
3　**基幹的漁業従事者の年齢**（令和〇年12月31日時点） 世帯員のうち、満15歳以上で自営漁業の海上作業従事日数が最も多い人の年齢を記入してください。	歳
4　**漁業・養殖業種類**（最も収入が多い漁業・養殖業の種類） 1年間に営んだ漁業・養殖業種類のうち最も収入が多い漁業・養殖業種類を下表の「01」～「35」の中から該当するコードを記入してください。	

○　「経営主の年齢」は、漁業・養殖業の経営における管理運営（出漁の時期の決定、出荷（販売）先の決定、漁船等の機器購入の決定）の中心となっている方の年齢を記入してください。
○　「家族の人数」は、経営主と生計を共にしている家族の人数を記入してください。生計を共にしていれば、家族以外の同居人も含まれます。

漁業・養殖業種類	コード	漁業・養殖業種類	コード	漁業・養殖業種類	コード
沖合底びき網1そうびき	01	遠洋まぐろはえ縄	11	その他の釣	21
沖合底びき網2そうびき	02	近海まぐろはえ縄	12	採貝・採藻	22
小型底びき網	03	沿岸まぐろはえ縄	13	小型定置網	23
船びき網	04	その他のはえ縄	14	その他の漁業	24
大中型まき網	05	遠洋かつお一本釣	15		
中・小型まき網	06	近海かつお一本釣	16	ぶり類養殖	31
さけ・ます流し網	07	沿岸かつお一本釣	17	まだい養殖	32
その他の刺網	08	遠洋・近海いか釣	18	ほたてがい養殖	33
さんま棒受網	09	沿岸いか釣	19	かき類養殖	34
その他の網漁業	10	ひき縄釣	20	のり類養殖	35

【２】漁業操業状況

２－１　１年間に漁業・養殖業に使用した漁船（他から借りて使用した漁船を含みます。）の隻数を漁船の種類ごとに記入してください。
　また、動力船について合計総トン数を記入してください。

漁船の種類	前年 隻数（隻）	本年 隻数（隻）	前年 合計総トン数（トン）	本年 合計総トン数（トン）
動力船				
船外機付船				
無動力船				

○　複数の動力船を所有している場合は、船毎のトン数を合計し、小数点以下２位まで記入してください。
　整数の場合は「00」と記入してください。

２－２　養殖施設面積についてお伺いします。所有又は借入している全ての養殖施設面積を記入してください。
　また、内訳として最も収入が多い養殖に使用している養殖施設面積を記入してください。

区分	前年 （㎡）	本年 （㎡）
養殖施設面積		
最も収入が多い養殖業の養殖施設面積		

○　最も収入が多い養殖業の養殖施設面積は、【１】現況の４に記入したコードが「31」～「35」の場合は、当該養殖業の面積を記入してください。

○　「養殖施設面積」は、魚類等を養殖するための「いけす」などが海面を占有している面積です。
　魚類等を放養していない「いけす」などの面積も含みます。
　但し、作業船の出入りのために開けている水面（船通し）及び潮の流れを良くするために開けている水面（潮通し）の面積は養殖施設面積には含めません。
○　「最も収入が多い養殖に使用している面積」は、最も生産物収入が多い養殖に使用している「いけす」などが海面を占有している面積を記入してください。魚類等を放養していない「いけす」などの面積は含めません。

　注：養殖の種類によって面積の考え方が異なるため、詳細は「調査票の記入の仕方」を参照してください。

SAMPLE

【３】労働の概要

３－１　出漁日数
　１年間の「出漁日数」を記入してください。

区分	前年 出漁日数（日）	本年 出漁日数（日）
経営全体		
最も収入が多い養殖業		

○　「出漁日数（日）」は、漁獲・収獲の有無に関わらず海上作業を目的として操業した漁労体ごとの出漁日数を合計した延べ出漁日数を記入してください。
○　最も収入が多い養殖業の欄は、【1】現況の４に記入したコードが「31」～「35」の場合に、当該する養殖業の出漁日数を記入してください。

３－２　労働日数・時間
　自営漁業・養殖業に従事した家族、雇用者別の「労働日数（人日）」、「総労働時間（時間）」を記入してください。

区分	家族・雇用者	作業区分	前年 労働日数（人日）	本年 労働日数（人日）	前年 総労働時間（時間）	本年 総労働時間（時間）
経営全体	家族	海上				
		陸上				
	雇用者	海上				
		陸上				
最も収入が多い養殖業	家族	海上				
		陸上				
	雇用者	海上				
		陸上				

○　労働日数(人日)については「海上」「陸上」ともに出漁日数に通常の従事者数を乗じて記入してください。
○　総労働時間(時間)は、従事した家族、雇用者別に延べ作業時間を記入してください。
○　最も収入が多い養殖業は、【1】現況の４に記入したコードが「31」～「35」の場合に、該当する養殖業の状況を記入してください。

　注：詳細は「調査票の記入の仕方」を参照してください。

３－３　最盛期の従事者数

漁業・養殖業の海上作業（養殖業の場合は陸上作業を含みます。）に従事した人が、最も多かった時期に、海上及び陸上作業に従事した人数を記入してください。

区　　分	前　　年	本　　年
	最盛期の従事者数（人）	最盛期の従事者数（人）
家　　族		
雇　　用　　者		

３－４　企画管理労働

漁業・養殖業の経営に関わる集会や研修会に参加した人、帳簿管理等を行った人の「労働日数(人日)」と「延べ労働時間（時間）」を記入してください。

区　分	単位	前　　年	本　　年
		企画管理労 働	企画管理労 働
労 働 日 数	人日		
延 べ 労 働 時 間	時間		

【４】損益（損益計算書）

税務申告書の「損益計算書」等を参考に、漁業・養殖業に関する収支（漁労収入、漁労支出、棚卸高）及び、漁業・養殖業以外の水産加工業等の自営業に関する収支（漁労外事業収入、漁労外事業支出、棚卸高）等についてお伺いします。

４－１　収　入

損益計算書の「売上（収入）金額」のうち、「漁業・養殖業に関する収入」、「漁労外事業に関する収入」及び「制度受取金等」の内訳を千円単位（表示単位未満は四捨五入）で記入してください。

「最も収入が多い養殖業の収入」の欄は、【1】現況の４で選択した漁業・養殖業種類が「31」～「35」の当該養殖業の生産物収入について記入してください。

収　入　項　目	勘　定　科　目　の　説　明	前　年	本　年
		金　額（千円）	金　額（千円）
(1)漁業・養殖業に関する収入	自家漁業及び自家養殖業による漁獲物、収獲物の販売等による収入		
漁業生産物収入	自家漁業の生産物(漁獲物)の収入、直売所・自家販売(道の駅での販売、通販等)も含む		
養殖業生産物収入	自家養殖業の生産物(収獲物)の収入、直売所・自家販売(道の駅での販売、通販等)も含む		
最も収入が多い養殖業の収入	最も収入が多い養殖業の収入（【1】現況の４で選択した養殖業）		
(2)漁労外事業に関する収入	漁業・養殖業以外の自営業(水産加工業、民宿、遊漁船業及び農業等のその他事業)の収入		
水産加工業収入	漁業生産物を原料とした加工品類等に関する水産加工業の収入		
その他事業	漁業生産関連事業(漁家民宿、遊漁船業等）及び自営業（農林業等）、賃料、漁場保全等の収入		
(3)制度受取金等	その他の自営業に関する保険受取金、共済受取金、損害補償金、制度受取金等の合計		
漁業・養殖業関係	漁業・養殖業に関する制度受取金 漁獲共済受取金、漁船保険受取金等		
漁業収入安定対策事業（積立ぷらす）	補てん金		
漁業経営セーフティーネット構築事業	補てん金		

SAMPLE

○　漁業・養殖業に関する収入
・「漁業生産物収入」及び「養殖業生産物収入」には、販売収入以外に雇用者への現物支給、自営の水産加工業等へ仕向けた現物仕向も含みます。

○　漁労外事業に関する収入
・漁業・養殖業以外の自営業の収入を、水産加工業とその他の事業に区分して記入してください。

○　制度受取金等
・制度受取金等の欄には、自営業に関する補助・補償金の合計を記入してください。うち漁業・養殖業関係は、漁業・養殖業に関する制度受取金等を記入します。なお、「漁業収入安定対策事業(積立ぷらす)」と、「漁業経営セーフティーネット構築事業」は、補てん金を記入します。

【4】損益（続き）の支出については、次ページへお進みください。→

【4】損益（損益計算書）（続き）

4－2　支出

損益計算書の「売上原価」及び「経費」のうち、「漁業・養殖業に関する支出」及び「漁労外事業に関する支出」の内訳を千円単位（表示単位未満は四捨五入）で記入してください。
「売上原価」のうち仕入金額（製品製造原価）及び「経費」（販売費及び一般管理費）を基に、「期首・期末の棚卸高」、「漁業・養殖業」及び「漁労外事業」に関する支出について、分類して内訳を記入してください。

支出項目		勘定科目等の説明	前年 金額（千円）	本年 金額（千円）
(1) 棚卸高		損益計算書の「棚卸高」のうち「漁業・養殖業に関する棚卸高」及び「漁労外事業に関する棚卸高」に分けて記入してください。		
期首棚卸高	漁業・養殖業	期首棚卸高＝期首（製品）棚卸高＋製造原価のうち期首原材料棚卸高、期首半製品・仕掛品棚卸高をいい、「漁業・養殖業に関する分」と「漁労外事業に関する分」に分けて計上		
	漁労外事業			
期末棚卸高	漁業・養殖業	期末棚卸高＝期末（製品）棚卸高＋製造原価のうち期末原材料棚卸高、期末半製品・仕掛品棚卸高をいい、「漁業・養殖業に関する分」と「漁労外事業に関する分」に分けて計上		
	漁労外事業			
(2)漁業・養殖業に関する支出		損益計算書の「売上原価」（製造原価報告書）、「経費」（販売費及び一般管理費内訳書）のうち、漁業・養殖業に関する支出		
雇用労賃		漁業・養殖業の雇用者への賃金手当、賞与、福利厚生費等の一切		
漁船・漁具費		帆布・櫓等の諸材料・部品費、漁網・浮子等の漁具		
油費		漁業目的で漁船に使用した一切の油代		
えさ代		漁獲、養殖用のえさ代		
種苗代		真珠母貝、魚類養殖等の種苗代		
修繕費		漁船・漁具の修理費		
販売手数料		生産物販売のため漁協・魚市場・生産組合・問屋等の集荷販売業者に支払った手数料、漁連の販手数料		
負債利子		借入金の支払利子、手形割引料、掛買い購入品の延滞利子等		
租税公課諸負担		固定資産税、自動車税、消費税等の租税（所得税、住民税等除く）及び組合費等の公課諸負担の漁業負担額		
減価償却費		漁業に使用した固定資産の減価償却費		
	建物・構築物	建物・構築物の減価償却費		
	船舶	漁船船体、搭載機関・機器等の減価償却費		
	漁網・はえ縄	漁網・はえ縄・編地・ロープ類及び付属品等の減価償却費		
	養殖施設	筏、支柱、網、縄、浮子等の養殖施設一式の減価償却費		
	漁業権	有償で取得した漁業の権利・許可等の減価償却費		
その他		上記以外の漁業経費（魚箱・氷代、漁業用の手袋・衣類、施設の備品、賃借料及び料金等）		
	漁業・養殖業関係の制度掛金等	漁業共済（漁獲共済、養殖共済、漁業施設共済等）掛金、漁船保険掛金等		
(3)漁労外事業に関する支出		漁業・養殖業以外の自営業（水産加工業、民宿、遊漁船業及び農業等のその他事業）の支出		
水産加工業		水産加工業に関する支出		

SAMPLE

【5】その他 制度積立金

漁業収入安定対策事業（積立ぷらす）及び漁業経営セーフティーネット構築事業の積立金についてお伺いします。
調査期間１年間に積み立てた金額を千円単位（表示単位未満は四捨五入）で記入してください。

支出項目	勘定科目の説明	前年 金額（千円）	本年 金額（千円）
漁業収入安定対策事業（積立ぷらす）	漁業収入安定対策事業の積立金		
漁業経営セーフティーネット構築事業	漁業経営セーフティーネット構築事業の積立金		

調査は以上で終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。